

「大山レポート」 とは

NOTICE

- 「プロフェッショナルのための半導体情報 大山レポート」は、「Amazon.co.jp」「チップワンストップ」でご購入できます。価格は8万8000円(税込み)です。
- 半導体やその関連材料、部材、装置などの製造、流通、調達に関わる担当者、そして半導体業界の調査分析に携わる投資家、金融機関、証券会社、調査会社、コンサルティングファーム、研究機関などを含む「プロフェッショナル」の方々のための半導体情報誌です。
- 年4回(2月、5月、8月、11月)の発行を予定しています。
- ご購入いただいた方には、下記のURLでの読者登録をお勧めしております。登録いただいた読者のみなさまには、編集長である大山聡が提供するコンサルティングサービスや登壇するセミナー、出演するYouTube番組などの情報を随時お届けします。(読者登録ページ URL: <https://grossberg.jp/oyama-report/>)

次号予告(2024年第4四半期号 No.2、2024年11月発行予定)

「NVIDIAの研究、独占の構造と賞味期限」※内容は変更になることがあります。

プロフェッショナルのための半導体情報

大山レポート

2024年第3四半期号(2024年8月7日発行) No.1
ISBN978-4-9913715-0-9

編集長 大山 聡
企画編集 山下勝己(観清舎)
校正 杉山典子(観清舎)
クリエイティブディレクション 奥村毅正(TSTJ Inc.)
アートディレクション 出羽伸之(TSTJ Inc.)
デザイン 真崎琴実(TSTJ Inc.)
制作 TSTJ Inc.
発行 グロスバーグ
発売 観清舎

編集内容に関するお問い合わせ / tel: 090-8581-6961 e-mail: oyama@grossberg.jp
販売に関するお問い合わせ / e-mail: oyama_report@kantosha.com
©2024 グロスバーグ
本書の無断複製・複製(コピー)は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。
購入者以外の第三者による電子データ化および電子書籍化は、私的使用を含め一切認められておりません。



<https://grossberg.jp/oyama-report/>

大山レポートは、半導体やその関連材料、部材、装置などの製造、流通、調達に関わる担当者、そして半導体業界の調査分析に携わる投資家、金融機関、証券会社、調査会社、コンサルティングファーム、研究機関などを含む「プロフェッショナル」の方々のための半導体情報誌です。さまざまな半導体の市況と市場予測、業界や企業の業績予測を中心に、「半導体業界のこれから」を決める重要な、技術トレンドやビジネス環境、政策などに関するトピックについて分析、予測、解説していきます。

半導体に関する業界予測や需給予測は、これまで以上に難しくなってきました。AIをはじめとする劇的な技術進化もあります。それに加えて深刻なのは、経済合理性、技術進化といった「ビジネスのルール」を基本に将来を見通す方法論が使えなくなってきたことでしょう。

あらゆる産業分野で電子化、IT化が急速に進んだ結果、半導体なくては産業も社会生活も成り立たないという状況が生まれました。つまり、半導体調達は企業だけでなく国や地域の存亡を左右するほどの重要課題になったのです。こうした状況を踏まえ、グローバルな政治外交問題、国内政策の動向などを押さえながら、さらには先端技術の動向を注視しつつ、現状報告にとどまらない「仕事に必ず役立つ」情報提供に特化していきます。

プロフェッショナルのための半導体情報

No.1 2024年
第3四半期号

大山レポート

見本誌

▶ COVER STORY

TSMCの研究、 1強状態は まだ10年続く

▶ INTERVIEW

「もしたら」でも当然続く中国外し、 日本には台湾依存の払拭役を期待

——トランプ前政権 技術アドバイザーのCamilo Sandoval氏に聞く

▶ MARKET DATA 世界半導体市場はボトム期を脱す、年末に向け回復するも歩みは遅い
世界半導体市場動向 / ディスクリット半導体の市場動向 / 光半導体の市場動向 / センサ/アクチュエータ半導体の市場動向 / アナログICの市場動向 / マイクロ(MPUとMCU)の市場動向 / ロジックICの市場動向 / メモリICの市場動向 / 半導体製造装置とメモリICの市況の相関 / 半導体製造装置の地域別出荷額 / 台湾TSMCの業績 / 米Intelの業績 / 米NVIDIAの業績 / 米AMDの業績 / 米Broadcomの業績 / 米Qualcommの業績 / 韓国Samsung Electronicsの業績 / 韓国SK hynixの業績 / 米Texas Instrumentsの業績 / スイスSTMicroelectronicsの業績 / 独Infineon Technologiesの業績 / ルネサス エレクトロニクス の業績 / 東京エレクトロンの業績 / オランダASMLの業績 / 米Applied Materialsの業績 / ファウンドリ企業のウエハ価格推移(40nm~130nm) / ファウンドリ企業のウエハ価格推移(16nm~28nm) / ファウンドリ企業のウエハ価格推移(5nm, 7nm)

NEWS REPORTS
FoundryとIBMがチップレットで協業、2nmビジネスの切り札に
2023年171.4%と急伸したSiC市場、2024年後半はEV失速で急ブレーキ

プロフェッショナルのための半導体情報 No.1

大山レポート

TSMCの研究、1強状態はまた10年続く

「もしトランプでも当然続く中国外し、日本には台湾依存の払拭役を期待」



2023年10月



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。

大山レポート

TSMCの研究、1強状態はまた10年続く



「もしトランプでも当然続く中国外し、日本には台湾依存の払拭役を期待」



RapidusとIBMがチップレットで協業 2nmビジネスの切り札に



RapidusとIBMがチップレットで協業し、2nmビジネスの切り札に。この取り組みが半導体業界に与える影響について詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。




2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。

2023年に41.4%と急伸したSIC市場 2024年後半はEV失速で急ブレーキ



SIC市場の急成長と今後の見通しについて詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。



「もしトランプでも当然続く中国外し 日本には台湾依存の払拭役を期待」





「もしトランプでも当然続く中国外し 日本には台湾依存の払拭役を期待」に関する記事。国際情勢と半導体産業の関係について詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。



2023年10月の半導体市場動向に関する記事。主要な市場指標と今後の見通しについて詳しく解説している。

大山レポート

2023年10月

「もしトランプでも当然続く中国外し 日本には台湾依存の払拭役を期待」に関する記事。国際情勢と半導体産業の関係について詳しく解説している。